

やばせ

# 八橋人形の由来

安永・天明年間（1772～89年）頃

京都伏見の人形師が秋田市川尻鍋子山付近で

釜を開いて陶器や人形を焼いたのが始まりとされています。

一度制作が途絶えた後、

天保・弘化年間（1830～47年）に秋田市八橋の和助が

窯跡から型を掘り起こし制作を始めたのが

八橋人形の素型になったと伝えられています。

平成26年に最後の伝承者道川トモさんが亡くなった後

人形の保存・継承を図るため、

「八橋人形伝承の会」が有志により発足されました。

八橋人形 伝承の会 ホームページ参照



「干支亥」